

和歌山病院での実習を終えて



鳥越 拓也

今回、第三内科のポリクリで国立病院機構和歌山病院にて2日間実習させていただきました。和歌山病院は御坊駅にあるということで普段、和歌山以南にはあまり行く機会がないため新鮮な土地だと感じました。和歌山病院のすぐ近くには海もあり、木々も生い茂っており豊かな自然があつてきれいなところでした。周辺を探索したり、海を見たりする暇がなかったのが少し残念ですが、また個人的に行ってみたいと思えるような場所でした。

実習はセミナーを中心として様々なことを教えていただきました。結核に関するセミナーでは結核の感染様式に対する理解が深まりました。結核は空気感染するという教科書的な事実だけでなく、飛沫感染との違いや接触感染しないことなど、自分ではわかったつもりになっていても質問されるとうまく答えられなかったことも多く、曖昧な知識が鮮明になっていくような有意義なセミナーでした。院長の南方先生のセミナーでは胸部 X 線の読み方について詳しく教えていただきました。いままでの授業などでは主に疾患があるときに胸部 X 線上でどのような異常がでるかということを知ってききましたが、南方先生には正常の X 線の見え方と、なぜそのような線や輪郭ができるのか、白く映るところと黒く映るところはどういうところかなどといったことを説明していただきました。単に画像に写っているものを教えていただくというだけでなく、たくさん質問を受け、とても多くのことを考えさせられました。普段大学では暗記を中心とした勉強をしてしまいがちなので、何故そうなるのかということを知りたがることを自分なりに考えていくことはとてもためになり、記憶に残りやすく、また楽しいものでした。これからのポリクリでも患者さんの読影を自分なりに考えてできるようになった気がしました。セミナー以外でも、N95 マスクをはじめ装着し、結核の病棟に行って実際の患者さんの様子を見たことや、臨床工学技士さんに酸素療法や、呼吸補助について教えていただき、実際に呼吸補助の機械を使用させていただくなど貴重な経験をさせていただきました。

夜は鳥好で南方先生にご飯を御馳走していただきました。南方先生は色んなことを知っていて宮古姫の話などその土地に根付いた話もしていただきとても面白かったです。また、私たちの話にも興味を持って聞いてくれるので話安く、とても楽しい食事の場でした。

最後にお忙しい中、実習の機会を設けていただき、感謝申し上げます。南方先生や指導していただいたすべての方、車で御坊駅まで送り迎えをしてくださった職員さんなど、関わってくださったすべての人、本当にありがとうございます。